

ヘルプマーク・ヘルプカード

「ヘルプマーク」は、身体・知的・精神障害をはじめ、内部疾患や難病、てんかん、妊娠中の人など、援助や配慮を必要とする人が手荷物などに付けることで、周囲の人に援助や配慮を必要としていることを知らせるものです。

また、援助を受ける際に必要な情報を記載する「ヘルプカード」も併せて配付しています。詳しくは、福祉課までお問い合わせください。



福祉課 21-0284
ファクス 23-1433



献血実施について

岡山県赤十字血液センターは、下記の通り献血を実施します。血液は長期に保存することができず、絶えず必要です。皆さんのご協力をお願いします。



日時 7月14日(月)午前9時～11時15分 ②午後0時30分～3時30分
場所 高梁市役所
健康づくり課 21-0267

自宅で簡単！セルフ健康チェック「スマホドック」

指先からほんのわずかな血液を採取して郵送するだけで、脂質代謝や糖代謝、肝機能などの一般的な健康診断と同等の検査が自宅で簡単に、無料で受けられます。



申込期間 12月31日(水)まで
対象者 高梁市国民健康保険に入されている満20歳～49歳の人
詳しくは、市ウェブサイトをご覧ください。
市民課 21-0258

募集

高梁市地域公共交通会議の委員を募集

道路運送法の規定に基づく地域の交通対策の実施について、バスやタクシーなどの公共交通を利用する人の意見を集めるため、地域公共交通会議の委員を募集します。

◆会議の概要

役割 地域の実情に即した輸送サービスの提供、旅客の利便性の向上に必要な事項を協議します。

開催回数 年2～4回程度

構成 委員20名以内(公募委員を含む)

任期 2年

その他 会議出席の報酬と旅費を支給

◆募集内容

募集人員 2名以内

応募資格 18歳以上で市内に在住し、日常の移動手段として主にバスやタクシーなどの公共交通を利用する人

申し込み 応募申込書に必要事項



を記入の上、協働定住課、各地域局、各地域市民センターへ提出してください。
※応募申込書は協働定住課、各地域局、各地域市民センターで交付するほか、市ウェブサイトでからもダウンロードできます。
募集期間 7月1日(火)～7月31日(木)
◆委員の決定
応募者多数の場合は、選考により決定し、応募者全員に結果を通知します。
協働定住課 21-0254

軽自動車税(種別割)の原動機付自転車に新たな車両区分が追加されました

令和7年4月1日から、地方税法等の改正により、原動機付自転車のうち「総排気量が50ccを超え、125cc以下かつ最高出力4.0kW以下」のものが第一種原動機付自転車(税額2000円)に新たに追加されました。

詳しくは、市ウェブサイトをご覧ください。

市民課 21-0214

サマージャンボ7億円
(1等5億円・前後賞各1億円合わせて)
サマージャンボミニ5千万円
(1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)
この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。
各1枚 300円
7月11日(金)2種類同時発売!
発売期間 7/11(金)～8/11(月)
公益財団法人岡山県市町村振興協会

畜産飼料高騰対策支援金

畜産飼料高騰の影響による畜産農家の営農負担を軽減し、今後も継続して事業に取り組めるよう支援金を交付します。

対象 次の全ての条件に該当する畜産農家

①令和6年の確定申告(法人税・所得税)、もしくは市民税・県民税申告を行っている。

②令和7年5月1日時点で高梁市内に住所、または事業所などを有し、引き続き畜産業を継続する意思がある。

③令和6年に農林漁業収入がある。
④法人の場合は令和6年において法人市民税が賦課されている。

⑤市税などを完納している。

交付額

乳用牛1頭当たり 4000円

肉用牛1頭当たり 5000円

繁殖牛1頭当たり 2000円

申請方法 対象となる人に交付申請書兼請求書を送付しますので必要書類を添えて9月30日(火)までに農林課へ提出してください。

市民課 21-0223

消防署だより

災害への事前の備えを

6月は梅雨の時期に入り、大雨や台風などの風水害が発生しやすくなります。また、河川の増水や土砂災害、停電などの二次災害にも注意が必要となり、風水害に備えなければなりません。

また、災害への事前の備えとして、災害警戒レベルごとの対応について事前に確認しましょう。



↑関連の情報は、二次元コードの防災・危機管理情報へ

事前備えのチェックリスト

- ☐ ハザードマップで自宅や職場の周辺の危険箇所を確認
- ☐ 家族で避難場所・避難経路を話し合っておく。
- ☐ 非常持ち出し袋を用意し、中身を点検しておく。
- ☐ 雨どいや排水溝の掃除をする。
- ☐ 停電・断水に備え、飲料水・食料・電池などを備蓄する。

警戒レベル1 災害への心構え
警戒レベル2 避難行動の確認
警戒レベル3 高齢者等避難
警戒レベル4 避難指示
警戒レベル5 緊急安全確保

災害は、「危険が迫ってから」ではなく、「危険が予想される段階で」避難を始めることが重要です。

5月の火災・救急件数
火災 1件(前月より1件減)
救急 137件(前月より13件増)
消防本部予防課 21-0121